

## 世界に通じるベルカント目指して!

### ●「音楽の都ウィーンからの贈り物・出前講座」

ウィーンに帰国されていらっしゃった声楽家の富田千種さんが9月末に日本に来られ、春日部地区浦高会主催の「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業の秋の部が始まりました。秋は富田さんが学校等に出向いて発声指導や世界レベルの音楽について講演をする「出前講座」を組み込んでいます。今日は、午後4時から約2時間半にわたり、7月に発声指導を行った埼玉県立春日部高等学校合唱部の皆さんへの声楽指導・第2回でした。

今日は会場をセンテニアル・ホールに移して、22名の部員全員への個人レッスンを中心として行われました。今日のメニューも発声練習です。



富田さんはおっしゃいます。「男子の16歳から18歳は声帯が出来ていません。この頃に無理をしたりすると折角の声帯を潰してしまうことが多いのです。また、大きな声を出すことが良いことだと思うような間違った発声練習をしているケースがあります。発声練習は基礎ですので、彼らにしっかりと発声方法を伝えたいのです。」と…。今回も約2時間びっちり発声練習が続けられました。

まずは前回と同様に複式呼吸法をしっかりとお復習しました。横隔膜の動きを意識しながら早く吐き、次にはゆっくりと吐くというものです。

「コンクールで金賞と銀賞の差は、自分達それぞれが持っているキャパを100%出せるかどうかの差です。お腹の動きと声帯の動きを連動させることが

できれば、100%の声を出すことができるのです。」と…。

次に母音「アイウエオ」をしっかりと発音しながらの発声です。前回もそうですが、皆さん「イ」と「オ」が苦手なようです。ここで、富田さんから、「日本



語のオの発音は一つですが、ドイツ語ではダンクシェーンのようにオの口でエを発音する『Ö (オーウムラウト) Oe』や『Ä』『Ü』の3つがあります。」

そして子音では、口を閉じて発音する『MA』『PA』『BA』、舌を上あごに付けて発音する『NA』『LA』『TA』、『GA』と『nGA』の違いなど、初めて聞くことばかりでした。『LA』と『RA』の違いだけでなく、確かにドイツ語ではやりましたねえ。

ここまでで約1時間、後半は無理なく高い声を出せる方法についての練習です。

「君たちは自分の持っている声以外は出ないのです。ですから自分の才能(力)をしっかりと受け止めなくてはなりません。誰かの真似をしようとしても、それは自分の才能ではありません。自分の力を受け止めて大事にする、そして自分のキャパ100%をいかに引き出せるかが大切です。春日部高校の発声はどこにでも負けないという自負をもってやりましょう。大ざっぱに言うと声には胸声(きょうせい)と頭声(とうせい)の二つがあります。簡単に言うと胸声は地声と考えてもいいでしょうし、頭声はファルセットと考えてもいいでしょう。頭声を使うことは悪いことではありません。声帯がしっかりとできていない皆さんは、胸声で無理になってきたら頭声を使うことでしっかりと音程をとることが必要です。皆さんはグリークラブに入っただけですから、自分の声をしっかりと研究してください。胸声から頭声へ、頭声から胸声へ変化、それを支えるのが横隔膜です。」と広い音域を使いながら、頭声と胸声への変化を身に着ける練習をしました。

発声練習を終えて、「皆さん春日部高校グリークラブが目指す音楽の将来をしっかりと決めてください。ヨーロッパでは『Bel Canto(ベルカント、美しい歌、美しい歌唱)』が尊ばれます。皆さんには『Bel Canto』をぜひ目指してほしいと思います。私のYouTubeをみていただくと、この歌い方が分かると思います。」



最後は、22名の部員による「校歌斉唱」で約2時間半に及ぶ練習を終えました。確実に前回に比べて…。さて来年の初夏、成長した皆さんに富田さんとご一緒にお目にかかれることを楽しみにしています。

\* \*

### ◆次の出前講座は講演「ウィーンのまちと音楽」

さて次は、中学生を対象とした講演会です。11月4日(水)と5日(木)の2日間、全校生徒を対象として市立緑中学校と豊野中学校で、「ウィーンのまちと音楽」というテーマで講演をお願いしています。